

新型コロナウイルス感染症調整本部医療部会（第2回）会議録概要

1 日時

令和2年4月28日（火） 18:00～18:55

2 場所

県庁 2階 2-保-1会議室

3 出席者

11名

4 主な意見等

(1) 新型コロナウイルス感染拡大に備えた医療提供体制の整備について

- ・ 重篤患者がいる場合、中等症の受け入れは制限せざるを得ないので、実際の受け入れ数は少し落ちると考えている。
- ・ 感染症の対策が1年くらい続くとなると、オーバーフローするときに、かなり早い段階で鹿児島大学病院や鹿児島市立病院以外の医療機関や宿泊施設等に出さないと、高次機能病院は初期の段階で体力を消耗する。

→御意見のとおり、感染症指定医療機関が満床になったから、次の医療機関で受け入れるということではない。

- ・ 県の医師会では、各郡市医師会に受け入れ医療機関の意向調査の結果を送り、このほかに受け入れ可能な医療機関はないか確認をする。
- ・ 受け入れ医療機関の防護体制について、これで大丈夫なのかということをご指導、確認をしてもらいたい。

→県医師会と鹿児島感染制御ネットワークと連携して、専門チームにより対応していく。

(2) 鹿児島県新型コロナウイルス感染症調整本部設置要綱第9条に基づく関係者の出席等を求める対象について

- ・ 調整本部の中のアドバイザーで調整をしていくことと考えている。アドバイザーについては、統括的な調整、周産期、透析、小児（障害児）等の受け入れに関する調整を行うことと考えている。複数の体制が必要と考えている。適任と思われる方を挙げていただければ。

(3) その他について

- ・ 発生状況について、医療機関の一部には提供願いたい。これを見て医療関係者は心構えというものもできる。
- ・ 初めて診る病気なので、医療機関はとにかく情報がほしい。

→定期的な情報発信を含めて検討してまいりたい。

- ・ 医療従事者の勤務調整であったり、施設間移動、施設間の搬送が想定されるが、DMATでないと対応できないと考える。そのときは県庁内に災害対策本部を立てていただきたい。

→保健医療福祉課にDMAT事務局があるので、そちらで検討する。